



遺跡の名前は、どう付けるんだピヨ？

このまえ「井尻B遺跡」ってところに行ったんだけど、
「B」ってなんだピヨ、「B」って？！

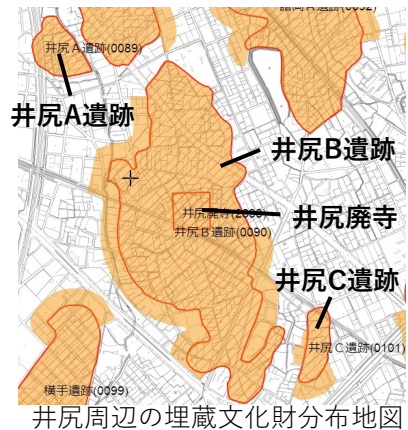
福岡市内には1,000以上の遺跡があり、その多くは、現在の地名(町丁名や字名など)から名付けられています。同じ地域にいくつも遺跡があるときには、A・B・Cなどの記号を付けて区別しているんですよ。



丸隈山古墳の
があこ先生

むかしの人たちが、自分たちの住む村や町をなんと呼んでいたのか。それは、文字で残されていない限り、知ることができません。そのため、便宜的に町丁名や字名から遺跡の名前を付けることが多いのです。

たまごちゃんが見学に行った井尻B遺跡は、南区井尻1丁目付近に広がる遺跡で、弥生時代から中世までの集落や墓地が見つかっています。井尻周辺では、時代や立地が異なる3つの遺跡が見つかっているのです、それぞれ「井尻A遺跡」「井尻B遺跡」「井尻C遺跡」と、区別をしています。



井尻周辺の埋蔵文化財分布地図



井尻B遺跡現地説明会の様子 (2022.6.4)

ちなみに、井尻B遺跡には、奈良時代のお寺が存在した可能性がある場所があり、「井尻廃寺」と呼ばれています。古代の寺跡は、当時の名称が分からないものが多いので、町丁名や字名に「廃寺」を付けるのが一般的です。たとえば、市内には高畑廃寺(博多区)や三宅廃寺(南区)、城ノ原廃寺(西区)などもあるんですよ。

市内の遺跡の範囲や名称は、ウェブ上でも見ることができるので、遺跡の名前をながめてみると、なにか発見があるかもしれませんね。

<リンク> 井尻B遺跡現地説明会資料→[こちら](#) 福岡市埋蔵文化財分布地図→[こちら](#)